



## Bコーポレーション

昨年11月上旬、主宰塾に通う埼玉県内のデイサービス経営者から、介護事業者として世界で初めてBコーポレーション取得企業として正式に認証されたとの連絡が来た。

「まだまだ険しい経営の道のりではありますが、日本の介護事業者が世界基準で認められるような動きをしたいと思っています」との頼もしい言葉が寄せられていた。

Bコーポレーション(Benefit Corporationの略)とは、米国に本拠を

## 他者への思いやりを 持った会社をつくる

転期に立つ経営の視座<sup>④</sup>

ほかに認証を受けた2社とともに『Bコーポレーションを知る会』(主催…一般社団法人日本B・コーポレーション推進支援委員会、共催…G8社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会)にパネリストとして参加することになっており、同会への出席依頼とともに、

はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。「継承と人材創造塾」主宰。「介護ビジョン」編集委員。介護福祉教育マスター。著書に「99の言葉の杖」(日本医療企画)、「早川浩士の常在学場」(筒井書房)、「介護人材創造塾」(筒井書房)、「介護保険改正に勝つ! 経営」(年友企画)、「データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望」(日本医療企画)など。

HP: <http://www.hayakawa-planning.com>

ブログ: <http://ameblo.jp/hayakawa-planning/>

置く非営利組織トラボ(06年設立)が、「The Best in the World(世界一になること)」になるのではなく『The Best for the World(世界にとってベストを尽くす会社になること)』をめざす民間企業の社会的責任や持続可能性等を評価するグローバルな認証制度だ。環境・社

会に配慮した事業活動を行うとともに、アカウンタビリティ(説明責任)や透明性などの基準を満たした企業に対して与えられる。16年11月30日現在、世界約50カ国、1966企業、130の業種が認定されている。有名どころでは、アウトドア・アパレルメーカーのパタゴニアや、アイスクリームのペン&ジェリーズなどがある。日本では、昨年3月に群馬県桐生市で絹製品の開発、販売等を手がける会社が初認証となった。塾生の会社は3社目だ。

昨年12月2日に開催された同会では、Bコーポレーションの概要や取得に向けたプロセス、日本におけるソーシャルおよびローカルビジネスにとってのBコーポレーションの役割などについてのパネルディスカッションが行われた。

## 世の中で役に立つ 会社になる

同会主催者は、「Bコーポレーションは働く人々に喜びと生きがいを与え、地域の皆様には『おもてなし』の心で、地域のお客様の気持ちを察知して、その期待に応える企業経営を実践します。(省略)働く

人々、地域社会、自然環境、消費者に犠牲を強いるのではなく、積極的に働く人々、地域社会、自然環境の問題を解決して、全ての人々が共に豊かになるような企業活動をおこないます」と理念を説明する\*1。

わが国では、07年度に創設された横浜型地域貢献企業認定制度や宇都宮まちづくり貢献企業認証制度などの行政による地域貢献企業の推奨制度などがある。また、上場企業向けのコーポレートガバナンスやCSR\*2ガイドラインなども広がってきたとはいえ、規模の大小にかかわらず、企業の社会的責任や持続可能性を評価した世界でも通用するBコーポレーションのような認証制度とはなっていない。

ちなみに、取得の狙いを塾生に尋ねたところ、「他者への思いやりを持った会社をつくること」との答えが返ってきた。

「B」のBenefitには、「利益」、「役に立つ」などの意味がある。

世界にとって、ベストを尽くす会社になることは、世の中で役に立つ会社になることではないか。人生意気に感ず、感奮興起。

\*1: 一般社団法人日本B・コーポレーション推進支援委員会のホームページから引用

\*2: Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)の略称